

羽島市ではご登録いただきました「羽島市防災コーディネーター」の皆様への情報提供のため、ニューズレターを発行しています。

はじめに

近年、記録的な台風や豪雨による災害により、全国各地で甚大な被害が発生しています。

令和7年7月には、カムチャツカ半島付近で発生した地震に伴う津波により、遠方での発生ながら国内の広い範囲に津波警報・注意報が発表され、改めて自然災害の予測の難しさと広域的な影響を痛感することとなりました。また、11月には大分市佐賀関で大規模な火災が発生し、強風にあおられた火の手が密集地を襲うなど、甚大な被害により災害救助法が適用されました。

こうした県外の事例は、決して遠い世界の出来事ではありません。本市においても、今後、発生が予測されている「南海トラフ巨大地震」への備えとして、耐震化や水、食糧、簡易トイレ等の7日分の備蓄をお願いします。

近年、線状降水帯による大雨が多発し、全国各地で被害が増加しており、本市においても9月にアンダーパスの冠水等をもたらす大雨が発生しました。

また、本市は木曾川、長良川、境川などの一級河川に囲まれ、水害リスクについても市民が意識し、平時からのマイタイムラインの作成や、洪水のリスクが高まった時は、事前の市外への広域避難が大切です。

自主防災組織リーダー研修会

令和7年7月6日(日)午後2時から市立中央公民館201会議室で、「災害への備え」と題して、岐阜県清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーター 地域マネージャーの兒玉靖氏をお招きして講演会を行いました。市防災コーディネーターフォローアップ研修としても開催し、市防災コーディネーターの方にもご参加いただきました。

トイレや食糧の備蓄、家具や家電の固定など、「自助」の取り組みを中心にお話いただきました。また、兒玉 様のこれまで培った知識や災害対応に従事されてきた経験も交えた内容で、参加者の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

参加者アンケートからは、「自助の大切さを認識した」、「自ら考えて行動することが重要」、「地域に戻り内容を伝えたい」などの声が聞かれ、本研修会が災害の備えを「自分ごと」として捉える機会になったと思います。



<研修会の様子>

市総合防災訓練

10月26日(日)午前8時から、市総合防災訓練を開催しました。

令和7年度から開催日を「10月第4日曜日」としました。これは、岐阜県地震防災対策推進条例に基づき、県に最大の被害をもたらした明治24年の濃尾地震の経験を風化させない観点から、県民の皆様から意見をいただき、濃尾地震が発生した「10月28日」を岐阜県地震防災の日と定め、防災活動に取り組む日としており、本市においても、県条例の10月28日に基づき、「毎年10月第4日曜日」を市総合防災訓練の日とすることで、自治委員会理事会で協議いただき決定したものです。

当日は、市全域でシェイクアウト訓練、安否確認訓練を実施し、その後、南部地域会場の堀津小学校、中島小学校、中島中学校、桑原学園では地元の市民の方にご参加いただき、能登半島地震を踏まえた住民主体の避難所開設訓練を実施しました。



<避難所開設訓練の様子>

市防災研究会の方には、事前研修とフォローアップ研修を受けていただき、当日は各会場で簡易トイレの使い方や避難者自らによる避難所運営の心得などの説明にご協力いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、この際に、能登半島地震の教訓を踏まえた生活用水確保の重要性や、市で購入した給水タンクの組立説明を行い、今後の啓発の一助としていただきました。



<設置型組立式給水タンク説明の様子>

出前講座(啓発活動)

今年度の出前講座では、『防災じぶんごと講座～自分の命は自分で守ろう～』として、「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例」についての解説や能登半島地震で大きな課題となったトイレについて、主に啓発させていただきました。

R7年	4月27日	小熊新生防災会
	5月25日	竹鼻南コミュニティセンター
	6月15日	福寿コミュニティセンター
	6月29日	須賀区
	7月28日	竹鼻コミュニティセンター
	9月 7日	駒塚区
	9月 9日	IST 羽島事業所
	9月14日	国際交流協会
	10月 7日	中央小学校
	11月 5日	足近小学校
	11月11日	羽島ロータリークラブ
	11月25日	堀津町須賀第二サロン会
	12月20日	正木防災会
R8年	1月19日	小熊小学校
	2月22日	飯柄区
	2月26日	ohana の家
	3月 8日	石田区

<令和7年度実績 令和8年3月13日現在>

市防災研究会の主な活動

◇ 総会

令和7年4月20日(日)、市福祉ふれあい会館において、総会を開催しました。

◇ ピクニック日和

11月3日(月・祝)、木曾川堤外にある国営木曾三川公園桜堤サブセンターにおいて、国土交通省主催の『ピクニック日和』が開催され、昨年度に続き、研究会も出展を依頼され、能登半島地震で大きな課題となったトイレの説明や火起こし体験を行いました。



<簡易トイレ使用方法の説明の様子>

◇ 岐阜羽島駅前フェス

11月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり、新幹線岐阜羽島駅前通りを歩行者天国にして、『ぎふ羽島駅前フェス』が開催されました。研究会もブース出展し、防災ゲーム・新聞紙クラフトワーク・簡易トイレ・煙体験ハウスなどのコーナーを設け、来場者に防災の普及啓発活動を行いました。



<防災カルタの様子>

◇ 女性部会の活動

7月5日(土)に、岐阜県広域防災センター(各務原市川島町)を訪問し、濃煙迷路、地震体験、消火器での初期消火訓練、VRによる水害体験などを行いました。また、木曾川文化史料館では、木曾川周辺の水害の歴史などを学びました。



<地震体験装置の様子>

また、2月23日(月・祝)には、不二羽島文化センターにて防災食をテーマにフォローアップ研修会を開催し、防災食の調理・試食、災害時における防災食のあり方についての講義、意見交換を行いました。



<アイラップ調理の様子>

◇ その他の活動実績

令和7年度に行われた防災イベント等で会員が活躍したものの一部を紹介します。

R7年	5月25日	竹鼻南防災訓練
	6月22日	多職種防災研修会
	10月25日	小熊町宿泊防災訓練
	11月23日	福寿防災文化祭
R8年	2月 8日	桑原町文化祭
	2月22日	まさき夢まつり

羽島市防災研究会 HP でも活動紹介などを行っています。

<https://hashima-bousai.blogspot.jp/>

令和8年度の主な事業(市)

○ 市総合防災訓練

令和8年度は、10月25日(日)に北部地域(足近町、小熊町・新生町、正木町(三ツ柳地区を除く))を対象に実施します。

訓練内容等については、決定次第、市広報紙やホームページ等にてお知らせする予定です。

市では、市防災コーディネーター、市防災研究会の皆様と連携し、訓練を実施する予定をしており、今年度同様に事前研修やフォローアップ研修を実施する予定をしておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

○ ハザードマップの作成

市では、令和7年度に内水氾濫ハザードマップ、桑原川洪水ハザードマップ、大江川洪水ハザードマップを作成し、令和8年出水期を目途に配布できるよう準備を進めています。

令和8年度は、岐阜県により洪水浸水想定区域図が作成される東大江川について、洪水ハザードマップの作成を予定しています。

○ 地区防災計画の策定支援

実際に地区に住み、地区の特性をよく知っている住民の方々が、作成に向け、課題を共有し、話し合いを行うことが、いざという時の地域の中での助け合いにつながるものと考えられています。

地区防災計画は、市が作成について要請して取り組んでいただくものではなく、地区住民の方に自発的に作成いただくボトムアップ型の計画です。

そのため、市では令和4年3月に「地区防災計画作成の手引き」を作成し、市ホームページに公開しております。

また、計画作成を検討している地区には、出前講座の開催による防災意識の醸成や、職員の派遣による作成補助など、各地区の計画作成に向けた取組みへの支援をしています。



さいごに

市では、令和6年4月1日から「命と暮らしを守る羽島市民の防災減災条例」を施行したことを踏まえ、市民の皆様の自助や共助を支援し、一人でも多くの命を守ることができるまちを実現することとしています。

一層、市防災コーディネーターや市防災研究会の皆様と連携し、各種取り組みを進めてまいります。

引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

羽島市防災研究会事務局より

市防災研究会は、市防災コーディネーター登録者の有志が集まり、平成27年4月に設立されたボランティア団体です。事務局から会員への連絡は全てメールでお送りしています。まだアドレスを登録していない方は、このアドレス宛に名前を明記してメールしてください。受信しましたら事務局から返信いたします。

メール office@monja.info

HP は「羽島市防災研究会」で検索